

2025年2月28日

各 位

会社名： フクビ化学工業株式会社  
代表者名： 代表取締役社長 森 克則  
(コード番号：7871 東証スタンダード・名証メイン)  
問合せ先： 広報・IR推進室長 柏 直樹  
(TEL：0776-38-8415)

## 株式会社日本政策投資銀行による「DBJ環境格付」取得に関するお知らせ

当社は、2025年2月12日に株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という）から、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」であるという「DBJ環境格付」を取得し、これに基づく融資を受けましたので、お知らせいたします。



2022年取得時の「環境への配慮に対する取り組みが十分」からランクアップし、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」と評価されました。

### 1. 「DBJ環境格付」融資について

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

### 2. 格付理由

今回の格付では、以下の点が高く評価されました。

- (1) 事業を通じた環境課題の解決に向けた取り組みを加速させるべく、サステナビリティ委員会傘下の各ワーキンググループを取り纏める役割としてサステナビリティ推進室を設置するとともに、環境マネジメントを担う環境管理委員会において足元の取り組みの進捗管理を徹底することで、2030年の環境にかかる目標達成に向けて取り組みを着実に推進している点
- (2) プラスチック資源循環戦略の4Rに加え、廃棄物を異なる領域・使用法で「再価値化 (Revalue)」することを独自の創出価値として定義しながら、環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」を通じた製品ライフサイクル全体における省資源・資源循環や気候変動対策に取り組むとともに、その売上拡大に向け、主要製品における環境負荷低減効果の明示により訴求力を高めるほか、顧客のCFP算定支援を通じた新たな製品開発にも取り組むなど、事業を通じた社会課題の解決に精励している点
- (3) 2030年のあるべき姿として掲げる「暮らしを変える Creators」の実現に向けて、新たな技術開発と市場創造に挑戦すべく、「パートナーシップによる価値の創出」を掲げながら、足元では環境配慮型スマートベンチ等の開発に取り組むなど、産官学金の多様なパートナーとの提携・協働を通じた更なる価値創造に挑戦している点

当社は、第7次中期経営計画（2023年度～2027年度）にて「ESGを中核に据えた事業運営」に取り組んでいます。今後もサステナビリティを重要な経営課題として捉え、事業活動において環境、社会、ガバナンスの観点から、持続可能な社会の形成への貢献に努めてまいります。

以 上